

少年センターだより

発行 日野町少年センター
〒529-1602
日野町河原一丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c>

みまもる

小中学生が登校するとき、『朝のあいさつ運動』をして声かけをしています。また、下校時にはセンター職員が青パトに乗って下校の見守りをしています。金曜日の夕方には、少年補導委員・警察署と一緒に町内をパトロールしています。

朝は「おはよう」、下校途中の子どもたちには「お帰り」「気をつけてね」と声をかけて子どもたちの元気で安全な登下校を見守っています。

つなぐ

隣接の少年センターと連絡を取り合いながら広域にわたる少年の問題に取り組んでいます。また、町内の園、小中学校、高等学校、さらには役場の福祉保健課や子ども支援課、教育委員会、子育て・教育相談センター、そして最近では民間のNPO法人等とも連携しながら、さまざまな子どもの問題に取り組んでいます。

そだてる

さまざまな事情により、学習に対して課題や困難を抱えた中学3年生を対象に『子どもの学習支援事業IPPO(いっぽ)』を毎週行っています。また、学校に行きにくい子どもたちの学習支援をするため、『日野町サポートスクール(ステップ)』を行っています。さらには、無職少年に対する就職や進学の相談、自立への支援をしています。



少年センターは こんな所



ふせぐ

青少年の犯罪や非行防止のために、有害図書や有害がん具、ナイフ等について、量販店等をまわって販売や陳列の仕方などについてお願いをしています。

また、少年補導委員が町内の幼稚園や保育園を訪問し、『ペープサート』を使って、知らない人について行かないことやみんなが仲良くすることの大切さを教えています。

あんしんする

少年センターとかわりを持っていた子どもたちが、時々近況を知らせに来てくれます。また、学校帰りに立ち寄って、話をしたり勉強をしたりする子どももいます。

悩みや不満、不安、イライラなどを少し解消して、笑顔で帰ってくれます。子どもたちにとって安心できる『居場所』となっているようです。

しらせる

年に4回『少年センターだより』を町内全戸に配布して、青少年の問題や現状をお知らせしています。また、町内各小中高校で『薬物乱用防止教室』を開催したり、文化祭で展示したりしながら、薬物の危険性や非行・被害防止等についての啓発活動をしています。

各小学校には、子ども向けのポスター『青パトだより』を掲示しています。

「インターネットとの関わり方」 ～正しい知識を持ち上手に活用する力を～

西大路小学校 校長 武久 世紀子

この2年間、社会全体が新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けてきました。学校においても、様々な行事や教育活動について実施時期や内容を検討しながら進めてきました。

そのような中、昨年以降、全国的に子どもたちが自宅で過ごす時間が増加し、それに伴いゲームや動画、SNS等、インターネットと関わる時間も増加していると言われています。今年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、日野町の児童においても同様の傾向が見られます。また長時間のネット利用による生活習慣の乱れも心配されるところです。

あるインターネットの利用に関する調査によると、小学生では主にゲームや動画視聴でのネット利用が多く、中・高生になるとそれに加えてコミュニケーションツールとしての利用が上位を占めるそうです。コミュニケーションツールの利用は、楽しく便利である反面、思わぬトラブルに巻き込まれる危険性もあります。ネット依存やネット上のいじめ、誹謗中傷等は、深刻な社会問題にもなっています。

しかし、インターネットは、今や私たちの生活に欠かせないものです。このコロナ禍においては、オンライン授業やリモート勤務、ネット通販等も大いに役に立っています。学校においても一人1台のタブレットが導入され、授業の中でもインターネットを活用しているところです。

今年度、町内小学校では、4～6年生対象に『スマホ・ケータイ教室』を実施しました。子どもたちがインターネット利用のメリット・デメリットを正しく知り、上手に活用していく力を身につけていけるよう、今後も学校と家庭が連携していきたいと思えます。



春は新しい出会いが多く、自己紹介をする機会が増えますよね。そんな中、「長所は何ですか？」と問われたら、何と答えますか？ 長所の場合、すぐに浮かぶ人とそうでない人がいると思います。では反対に、「短所は何？」と問われるとどうでしょう。人は<良いところ>よりも、<苦手なところ>に注意が向きやすい傾向にあります。そのため、長所よりも短所の方が浮かびやすいのです。

このことは、自分に対してだけでなく、子どもに対しても同様です。子どもの嫌な面ばかりが目につき、怒ってばかりになりがち…という方も多いのではないのでしょうか。親や大人からネガティブな言葉を多く聞かされている子どもは、考え方もネガティブになり、自己肯定感が下がりやすくなります。そうすると、「自分はダメな子だから」とやる気が下がり、力を発揮したり、伸ばしたりしにくくなってしまいます。やる気を高め、いろんなことに挑戦して力を身につけていくためにも、『良いところ探し』をし、言葉で伝えていく関わりが大切ではないでしょうか。

(日野町子育て・教育相談センター Y・A)

令和3年中の東近江警察署管内の少年非行の状況

刑法犯少年の検挙補導状況

☆令和3年中、刑法犯で検挙・補導された少年は30人で、前年同期と同数となりました。

☆学識別では、小学生1人、中学生17人、高校生7人、有職少年2人、無職少年3人が検挙や補導をされています。

☆罪種別では、多い順に、住居侵入が8人、暴行傷害が6人、自転車盗が5人となっています。

		令和3年	令和2年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	21	18	3
	触法少年	9	12	-3
	小計	30	30	0
特別法犯少年		3	10	-7
ぐ犯・不良行為少年		298	181	117
合計		331	221	110

不良行為少年補導状況

☆令和3年中、不良行為で補導された少年は298人で、前年同期と比べて117人増加しました。

☆行為別では、多い順に深夜徘徊157人、喫煙87人、粗暴行為13人、飲酒12人、怠学11人、家出7人、無断外泊とその他がそれぞれ4人、暴走行為が3人でした。

☆学識別では、多い順に中学生100人、高校生69人、有職少年55人、無職少年54人、小学生17人、その他学生3人でした。

子どもと女性に対する前兆事案等の発生状況

令和3年中、日野町内では、強制わいせつや撮影等の性に関する対象事件の発生はありませんでしたが、子どもと女性に対する声かけ、つきまとい、容姿撮影等の前兆事案は、3件発生しています。前兆事案は、学校や学童保育、塾等からの帰宅途中に多く発生していることから、帰宅する時には、なるべく一人にならず、人通りが多い道を通りましょう。

また、周囲の大人は、子どもの下校時間にあわせて散歩や買い物をするなど、行き交う子どもなどの安全に気を配り、地域で見守る目を増やしていきましょう。

「お酒」と「たばこ」は20歳から

民法の一部改正法が成立し、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から「18歳以上」に引き下げられます。しかし、お酒（飲酒）とたばこ（喫煙）を禁止する年齢については、健康等への配慮から、これまでどおり「20歳未満」です。

そのため、18歳で成人となった場合でも、飲酒・喫煙は禁止されていますので、間違えないように注意しましょう。





2月1日～3月18日は
サイバーセキュリティ月間
「#サイバーセキュリティは全員参加」

- ・アプリは信頼できるサイトから
- ・ウイルス対策も忘れずに

薬物乱用防止教室を開催しました

日野町少年センターでは日野ライオンズクラブと東近江警察署の協力を得て、小学校6年生を対象に、薬物乱用防止教室を開催しました。

4月から民法が改正され成人年齢が18歳となりますが、飲酒・喫煙は今までどおり20歳まで法律で禁止されていることや、薬物乱用は心身の健康に深刻な影響を及ぼすことなどを学んでもらいました。

また昨年末には守山市で市販薬の大量摂取による死亡事件がありました。市販薬でも大量に摂取すると薬物乱用になることも学びました。

若者があこがれる芸能界などでも大麻問題がよく報道されていますが、今ではインターネット上の違法サイトやSNS等を通じて青少年でも簡単に手に入る時代となりました。

もし誘われても強い気持ちで「ダメ。ゼッタイ。」そして「はっきり断る」など自分を守る行動がとれる青少年に育てほしいものです。



薬物はそんなに多いとは思っていなかったけれど、本当はたくさんあって、怖いものだと知った。薬物を使用しているときは、楽しく、心が楽になるのかもしれないけれど、後からとても悲しい思いをすることが分かった。
(南比都佐小)

あらためて薬物ってダメだなあと思いました。良い薬でもたくさん飲みすぎると危ないんだなと思いました。(必佐小)

つぶやき

少年補導委員の活動の中で、青パトによる声かけ運動や、地域の小学校、中学校での『朝のあいさつ運動』があります。性格上声かけが得意でない私が、精一杯声かけをしている時、元気よく大きな声であいさつしてくれる子どもに出会います。そんな時は心が温まりとても嬉しくなります。

以前、必佐小学校の通学路に隣接する田んぼで農作業をしていた時、下校途中の小学生が30m以上離れたところに居る私に、大きな声で、「ただいま！」とあいさつしてくれました。そのあとの作業がとてもはかどったことで、あいさつは人の心を豊かにし、元気を与えるものだという事を改めて子どもから教わった気がしました。

あいさつは、心を豊かにしてくれます。今後は子どもに負けないあいさつ運動を目指します。

日野町少年補導委員 山添 秀雄

ひとりで悩まないでまずは相談を！

○相談時間：月～金曜 9：00～16：30

○電話相談 ○面接相談

*お気軽にお越しください。(秘密は厳守します)

○場所：日野町少年センター(日野町勤労福祉会館2階)



メールアドレス
QRコード